

## 谷川整形外科クリニック 谷川浩隆院長（松本市）

# 開院しました



育児休業中の相談者からは、「9～10月には就職したい」といった具体的で積極的な声がいくつか聞かれた。このほか、「子育てしながら扶養の

があり、県ナースセンターの伊藤英子氏や県の看護アドバイザーらが個々のニーズに沿った情報を提供した。

初回を振り返って伊藤は6割強とみられ、高い実績を残した。反響が大きかったため、今年度は会場と回数を2倍近く増やして開催している。

指定療養介護事業所「三才山、交流や公開講座」を運営している。院長は、筋ジストロフィーを中心に神経筋疾患に関する情報・技術提供

ラムの講師や、日刊紙への連載執筆など、フリーも採用。駐車場も20台分確保して患者の利便性を高めた。谷川院長は松本市出身。1962年生まれ、52歳。信州大医

「癒しのステーション」として、地域の皆さまの健康に役立ちたい」と抱負を語る。

昨年7月、実家にもほど近い、あがたの森公園東側に開院した。診療科目は整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科。腰痛、肩こり、関節痛などの運動器疾患に幅広く対応している。整形外科

領域が専門でありながら、日本心療内科学会登録医（評議員）でもある谷川院長は、運動器疼痛に対して、心身医学的にアプローチする「心療整形外科」を提唱・実践している。

「患者さんの痛みや苦しみの声をしっかりと受け止め、心に対するケアも同時に行っていきたい」と語る。

スポーツドクターとして、国体や長野県選抜サッカーU15のフランス遠征などに同行した経験のある谷川院長

は、スポーツ整形にも積極的に取り組んでいる。診療所は半径500m圏内に学校が8校もある文教地区にある。スポーツによるけがで通院する学生も多い。スタッフは谷川院長のほか、看護師3人、事務3人。施設内

卒。癌研付属病院、安曇総合病院副院長、信州大医学部臨床教授を務めた。日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本リハビリテーション医学会の3学会で専門医を取得。日本体育協会公認スポーツドクター。健康フォーラムの講師や、日刊紙への連載執筆など、フリーも採用。駐車場も20台分確保して患者の利便性を高めた。谷川院長は松本市出身。1962年生まれ、52歳。信州大医

書に「腰痛をこころで治す」心療整形外科のすすめ」（PHP研究所発行）などがある。

ゆったりと座れる待合室

